

令和5年度 旭川未来会議2030 子育て分野について

令和5年5月10日
子育て支援部子育て支援課

テーマ 自分らしく子育てできるように、みんなでできること

議論の視点
(例)

- ・保護者が日々の生活において(制度のみならず感覚的な面でも)子育てしやすいと感じられる。
- ・保護者が自己肯定感を持って子どもと向き合い、子育ての一義的責任を果たせる。
- ・当事者(保護者や子ども)だけでなく、まちの人や企業などがそれぞれの立場で子育てにアプローチできる。
- ・多様な子育てを受け入れ、サポートする(できる)まち。

参加者 9人

令和4年度参加者(継続5人)に、
公募2人及びテーマを踏まえた
直接依頼2人を加えた9人で構
成する。

R4継続
5人

早川由理, 松澤美沙, 丸山恵理, 山田覚, 吉田育子
(子育て中の保護者, 子育てに関わる活動をしている方)

直接依頼
2人

- ・喜多柚月(株式会社カワムラ。子育て支援に取り組む民間企業の社員)
- ・森本優菜(旭川医科大学看護学科。地域社会と関わる活動を行う学生)

公募
2人

- ・菅原千聖
 - ・田中慶人
- 要件** 将来、子どもを産み育てたいと考えている若者(29歳以下)

子育て分野のポイント

01 多様な年齢や立場からの意見

- ・将来の保護者となる若者(29歳以下)の参加
- ・企業や学校など、子育ての当事者以外の視点

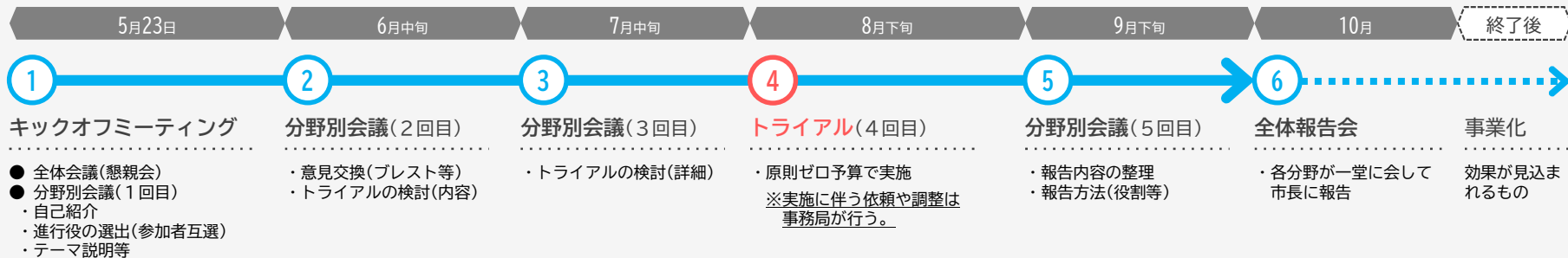
未来志向かつまち全体への波及を見据えた取組の検討

02 新しい事業の検討・実施

- ・意見を踏まえた取組やイベント等のトライアル
- ・実効性が見込まれる意見は子ども基金による事業化を検討

効果的な会議の実現と実効的な取組の検討

会議の展開・スケジュール(案)



事務局

連絡・調整, 資料作成, 会議への参加(主体的な議論を妨げない範囲), 会議録作成, 事業化に向けた検討